

Nursing Skills

2 units (compulsory) 2nd-year

Chiemi Kawanishi · PROFESSOR / FUNDAMENTAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Kikuko Okuda · ASSOCIATE PROFESSOR / COMMUNITY AND PSYCHIATRIC NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Yukie Iwasa · ASSOCIATE PROFESSOR / FUNDAMENTAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Yuko Yasuhara · ASSISTANT PROFESSOR / FUNDAMENTAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Target) 1) 対象者に必要な日常生活援助の基礎的知識や基本的技術・態度を習得する。2) 対象者の治療や処置に伴なって実施する援助のために必要な看護の基礎的知識や基本的技術・態度を習得する。

Outline) 1) 看護実践上の基本となる日常生活援助の基本技術・生活を支える技術について学び、学内実習を通して実践力を高める。2) 診療時の援助技術、治療、検査・与薬時の援助技術について学び、学内実習を通して実践力を高める。単なるテクニックを学ぶのではなく、対象者を想定して実施する。

Keyword) 日常生活の援助, セルフケア, 安全, 安楽, 経済性, スタンダードプロシジョン

Notice) 1) 患者役、看護者役をとるときには、役割行動を徹底する。2) 学生同士愛称で呼ばない。3) ベッドにもたれたり腰掛けたり、モノは置かない。4) 実習室内は飲食禁止。(食事介助は別) 5) 実習への主体的参加 ネームプレート、ユニフォーム(ストッキング、下着)着用。自習のときもナースシューズ、ふさわしい髪形、装飾品はつけない。爪を切る。秒つき時計、聴診器の持参、実習室に必要な物品以外もちこまない。

Goal)

1. 看護技術の特殊性について列挙できる。
2. 安全で安楽な援助ができる看護技術を実践できる。
3. 科学的根拠にもとづいた看護が実践できる基礎的能力を養う。
4. 感染予防のための技術が実施できる。
5. 採血を安全に実施できる。

Schedule)

1. オリエンテーション/感染予防
2. 感染予防
3. 感染予防
4. 感染予防
5. 口腔ケア
6. 口腔ケア
7. 口腔ケア
8. 口腔ケア
9. 浣腸/排便
10. 浣腸/排便
11. 浣腸/排便
12. 浣腸/排便

13. 浣腸/便器・尿器の当て方/おむつ交換/グリセリン浣腸/ポータブルトイレ
14. 浣腸/便器・尿器の当て方/おむつ交換/グリセリン浣腸/ポータブルトイレ
15. 浣腸/便器・尿器の当て方/おむつ交換/グリセリン浣腸/ポータブルトイレ
16. 浣腸/便器・尿器の当て方/おむつ交換/グリセリン浣腸/ポータブルトイレ
17. 経管栄養
18. 経管栄養
19. 経管栄養(モデル人形で)
20. 経管栄養(モデル人形で)
21. 経管栄養(実際)
22. 経管栄養(実際)
23. 経管栄養(実際)
24. 経管栄養(実際)
25. 無菌操作・ガウンテクニック
26. 無菌操作・ガウンテクニック
27. 無菌操作・ガウンテクニック
28. 無菌操作・ガウンテクニック
29. 導尿
30. 導尿
31. 検尿
32. 検尿
33. 導尿(一次的導尿)
34. 導尿(一次的導尿)
35. 導尿(留置カテーテル法)
36. 導尿(留置カテーテル法)
37. 気道内加湿/酸素吸入/気道吸引
38. 気道内加湿/酸素吸入/気道吸引
39. 気道内加湿/酸素吸入/気道吸引
40. 気道内加湿/酸素吸入/気道吸引
41. 検査を受ける患者の看護
42. 検査を受ける患者の看護
43. 注射器の取扱い
44. 注射器の取扱い
45. 採血(注射器・真空採血管)
46. 採血(注射器・真空採血管)
47. 採血(注射器・真空採血管)
48. 採血(注射器・真空採血管)
49. 採血(シュミレーターでの練習)

50. 採血 (シュミレーターでの練習)
51. 採血 (シュミレーターでの練習)
52. 採血 (シュミレーターでの練習)
53. 採血 (シュミレーター → 学生間)
54. 採血 (シュミレーター → 学生間)
55. 採血 (シュミレーター → 学生間)
56. 採血 (シュミレーター → 学生間)
57. 採血 (シュミレーター → 学生間)
58. 採血 (シュミレーター → 学生間)
59. 採血 (シュミレーター → 学生間)
60. 採血 (シュミレーター → 学生間)
61. 筆記試験・実技試験

Evaluation Criteria 実技テスト (50), 筆記テスト (40), レポート (10), 授業の参加態度や出席状況を加味する。

Re-evaluation 再試験 (実技・筆記) あり

Textbook 基礎看護技術, メディカ出版, 2004

Reference

- ◇ 村中陽子, 玉木ミヨ子, 川西千恵美編著:看護ケアの根拠と技術, 医歯薬出版
- ◇ 川島みどり編:改訂版実践的看護マニュアル共通技術編, 看護の科学社
- ◇ 山崎智子監修:明解看護学双書 基礎看護 2, 金芳堂
- ◇ 小松浩子他:看護実践の根拠を問う, 南江堂

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217946>

Contact

- ⇒ Kawanishi (保健学科 3 階, +81-88-633-9047, ckawa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 川西千恵美, 水曜日 17:00~ 18:00)
- ⇒ Iwasa (03032, +81-88-633-9040, iwasa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日 16:00~ 17:00)
- ⇒ Yasuhara (+81-88-633-9329, yasuhara@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note 講義時間外においても実習室内で繰り返し練習すること